

那覇市の市街地に位置する米軍那覇軍港に陸揚げされたいた米海兵隊の垂直離着陸機MV22オスプレイが9日、同軍港を離陸して飛び立ち、米軍普天間基地（沖縄県宜野湾市）に移動しました。

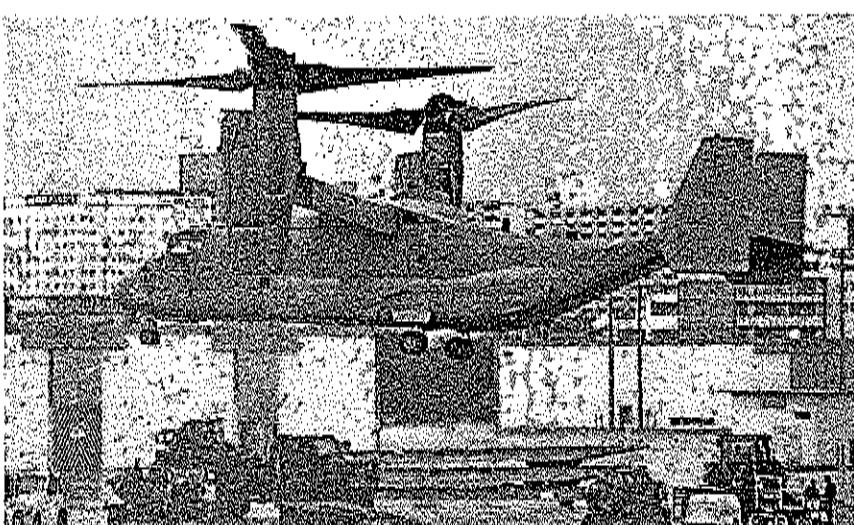
沖縄県は、オスプレーオスプレイが飛行しないよう要請していましたが、米軍はこれを無視して飛行を强行しました。玉城デニー知事は「断じて容認できない」とのコメントを出しました。

オスプレイは6日と3機が同軍港に陸揚げされていました。9日、朝から機体の整備が行われ、午後1時すぎに大雨のなか1機が、同1時10分すぎに2機目が相次いで離陸。3機目も同日中に飛び立ちました。

那覇軍港→普天間基地へ

沖縄県は、オスプレー 日米合意で定められたイなど米軍機が那覇軍港の使用目的では離着陸することはないとして、航空機の飛行を行なわないがしかしするものであり、「甚だ遺憾だ」と強調しました。

那覇軍港の浦添市沖への移設＝新軍港建設計画をめぐり、県は移設に關し、オスプレイなどの航空機の離着陸・訓練を一切行わないよう求めていました。しかし、今回のオスプレイの飛行をはじめ、県の求めに反する運用が相次いでいます。



米軍那覇軍港を離陸し、普天間基地へ向かうMV22オスプレイ＝9日、那覇市

デニー知事は今回の飛行に關しコメントで、「沖縄県民の思いをないがしかしするものであり、甚だ遺憾だ」と強調しました。

那覇軍港の浦添市沖への移設＝新軍港建設計画をめぐり、県は移設に關し、オスプレイなどの航空機の離着陸・訓練を一切行わないよう求めていました。しかし、今回のオスプレイの飛行をはじめ、県の求めに反する運用が相次いでいます。

今回陸揚げされ普天間基地に移動したオスプレイ3機は、6月に那覇軍港に飛来し船舶で輸送された普天間基地所屬のオスプレイ3機の代わりに、米本国から運ばれたとみられます。